伊賀市　事務事業評価シート

整備事業

	コード	名　　称			コード	名　　称
事業名	889	臨時河川等整備事業		会計	01	一般会計
				款	08	土木費
基本施策	20	美しい川の環境を維持する		項	03	河川費
				目	03	準用河川改修対策費
担当部課名	伊賀産業建設課			細目	102	準用河川改修事業
作成者氏名	高島幸生	連絡先	45－9119	細々目	01	臨時河川等整備事業

事業の計画・内容

整備目的	河川護岸の崩落防止のため、法面を保護する。	整備内容	1　整備面積等	A＝23．2㎡
			2　規模・構造	法面保護工（モルタル吹付け）
			3　総事業費（千円）	356

投入資源

			H17	H18（予算）	H19（予算）
①投入人員	正規職員　（人）		0.1	0.1	0.1
	人件費合計（A）		720	720	720
②支出内訳（千円）	事業費（B）		356	0	0
		委託料			
		工事費	220		
		資材費	136		
		その他			
合計（A+B）			1,076	720	720
③財源内訳（千円）	特定財源	国県支出金			
		地方債			
		受益者負担			
		その他特財			
	一般財源		1,076	720	720

上記①～③に関する特記事項

根拠法令・要綱等

河川法

関連事業

事業年度

開始年度	平成　　年度	終了年度	平成　　年度

進捗状況

区分	年度				
	H17	H18	H19	H20	H21
進捗率					

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	目標
		平成　17　年度
河川の整備改修及び浚渫の実施箇所数（箇所）	河川環境の保全・整備を地域の実情に応じ進めていく必要があり、整備実施箇所の設定を指標としたい。	1箇所

事業開始時からの状況変化等

河川環境を維持するため、また、河積を確保するため、行っている事業であり、今後も改修箇所・浚渫箇所の設定について、地域の実情に合わせて随時、事業を行っていきたい。

評価	必要性	4	河川環境の保全・整備と併せて地域防災の観点からも現状の把握に努め、順次整備を実施していくことが必要です。	総合評価
	有効性	3		A
	達成度	3		
	効率性	3		